

各会派 今任期4年を 振り返って

いばらき自民党



いばらき自民党
議員会長

白田 信夫

どこに対する支援、自
粛に伴う地方経済の
救済などを求める一
方、各定例会では、
県民や事業者の声を
もとに論戦を展開し
てきました。

「愛郷無限」心に 刻みながら

新型コロナウイルス禍の
収束が見通せない中で行わ
れた県議選で、いばらき自
民党は安定多数を確保し、
県政の責任政党として引き
続き、県勢の発展と県民福
祉の向上に取り組むこと
になりました。県民の皆様
の変わらぬご支持に対し、心
より感謝を申し上げます。

新生県議選が年明け早々
に始動するに当たって、
この任期を振り返ると、や
はり、新型コロナウイルスへの対応
対策に追われた4年間で、わが
会派は、本県で感染者が初
めて確認された1カ月以上
も前の令和2年2月6日に
は、大井川和彦知事に「緊
急要望」を提出、素早い対
応だったと思います。

それ以降、感染状況や影
響などを捉え、節目、節目
で知事要望を繰り返し、医
療従事者への慰労や、営業
自粛を強いられた飲食店な
どもに積極的に取り組んでき
ました。直近の第4回定例
会では、「茨城県性暴力の
根絶を目指す条例」など2
本が議決され、今期8本、
通算では24本となり、全国
トップレベルです。

いじめ根絶やヤングケア
ラー支援、残土問題、小規
模企業振興、犯罪被害者支
援など幅広いテーマに向き
合ってきたのも特徴です。

こうした活動の原点にあ
るのは、故梶山静六元官房
長官が政治信条としてきた
「愛郷無限」です。故郷を
思う熱い心が源泉と説いた
ものですが、それは、県議
会がロシアによるウクライ
ナ侵攻の翌日の2月25日に
全国で最も早く断固抗議す
る決議を採択したこととも
重なるでしょう。

我々は改めて、感染拡大
の防止と社会経済活動の回
復に向けてしっかりと取り組
むことが、県民の負託に応
えることであるとの決意を
新たにしたところです。県
民の皆様のご支援とご協力
を切にお願いいたします。

県民フォーラム

フォーラム
議員団
代表
齋藤 英彰



県民フォーラム
議員団
代表
齋藤 英彰

「自由、共生、未来へ の責任」を理念に

年の瀬を迎え、皆様方におかれまし
ては、ご多忙の日々をお過ごしのこと
と存じます。このたびの県議選では県
民フォーラム候補へのご支援、ご協力
をいただきましたこと心から感謝を
申し上げます。

さて、今任期を振り返りますと、令
和元年東日本台風をはじめ、令和4年
の福島県沖地震など自然災害が頻繁に

公明党

明
議員
代表
高崎 進



明
議員
代表
高崎 進

命を守り、希望が持てる 安心な暮らし

師走を迎え、皆様方にはご多忙の日
々をお過ごしのことと存じます。先の
県議選では、公明党の候補者に温かい
ご支援を賜り、心より感謝申し上げま
す。

今任期を振り返りますと、令和元年
10月に発生した令和元年東日本台風に
よる豪雨災害への対応が挙げられます。
私ども公明党では、台風による被災が

発生しました。災害から県民の生命と
財産を守る対策の強化と復興再生の着
実な推進を図ってまいりました。また
直近の3年間は新型コロナウイルス感
染症対策として、これまでに26回の補
正予算の審議などを行い、大きな影響
を受けている中小企業や県民生活の支
援を最優先課題と位置付けて活動を進
めてまいりました。

人口減少社会の中にあつて、地域間
競争、地域間格差の拡大、働き方改革
雇用対策、出会いから産み育てやすい
環境整備、互いに支え合う共生社会な
ど、県民の皆様が真の豊かさを実感で
きる「いばらき大県」の実現を目指し
てまいります。

今後とも、「県民のいのち、雇用、
暮らしを守る」を旗印に、県民フォー
ラム県議団一丸となり、県政発展に向
けて取り組んでまいります。

来年もご支援・ご協力をよろしくお
願い申し上げます。

明らかにや、いち早く現場に入り、
被災者に寄り添った復旧活動に取り組
むとともに、知事に対し被災者の切な
る声を要望書として提出しました。

また、令和2年に発生した新型コロナ
ウイルス感染症の対策であります。
感染症の状況が悪化する中で、県民の
命や安全を守り、県内経済への悪影響
を最小限にとどめるべく、県による大
規模接種会場の設置や中小企業への支
援など、知事に対し緊急要望を行つた
ところであり、素早い対応であったと
思います。

公明党は、県民の小さな声も政治に
反映するため、令和5年度予算編成に
向け、380項目の政策要望を取りま
とめ、11月中旬に知事へ提出いたしま
した。

日本共産党

共
議員
代表
山中 たい子



共
議員
代表
山中 たい子

全国8位の財政力に ふさわしい県づくりを

先の県議選では、あたたかいご支援
をいただき、ありがとうございます。
子育て・しごと・老後に希望をもつて、
安心して暮らせる茨城をつくれるよう
力を尽くします。

さまざまな要望や相談が寄せられま
した。物価高やコロナ感染症対策はも
ちろんのこと、安定した雇用と賃上げ、
地域医療の充実、高齢者・障害者福祉

立憲いばらき

立
代表
設楽 詠美子



立
代表
設楽 詠美子

一人一人に寄り添って

夜空の星が美しくなり、県民の皆様
におかれましては年越しの準備でお忙
しくしていることと存じます。このた
びの県議選では、皆様の温かなご支援
に心から感謝いたします。

今期の4年間はコロナ対策の活動が
中心となりましたが、児童生徒・女性
の自殺は過去最多となり、深い不安や
生理の貧困などさまざまな課題に直面

の向上、子育て支援と教育環境の整備
難病や医療的ケア児への支援、公共交
通の確保や防災対策など、どれも切実
な願いです。

日本共産党県議団は、こうした要望
の実現に向け、全国8位の財政力を生
かすよう、予算の優先順位をただして
まいりました。ムダな開発への税金投
入を見直さなければなりません。そし
て、国保税や介護保険料、水道料金な
ど県民負担を軽減することが求められ
ます。

また、東海第二原発の再稼働の工事
が2024年9月完了予定とされてい
ますが、老朽原発の運転はあまりに危
険です。県の判断が問われます。「再
稼働ストップ」の一点で共同の運動を
ひろげましょう。

来るべき年が、より良い一年となり
ますよう心から祈念いたします。

しました。世界では児童労働が増加に
転じ、学校に行けない子どもたちが増
加傾向に向かっていきます。私たちは、
できることから行動します。一人一人
に寄り添い、丁寧に対応し解決に結び
付くよう歩を進めてまいります。

さらに未来に向けて、全ての子ども
たちのチャレンジの土台を作る茨城県
独自の奨学金制度の創設やオーガニッ
ク学校給食、高齢者の皆様が安心して
暮らし最期を迎えられる環境を整えて
まいります。特に、在宅医療介護の充
実は重要であり、医療従事者の確保の
ためにも医学や看護・介護を学ぶこと
ができる学校作りを力を注ぎます。

私たちが目指すポストコロナは、コ
ロナの前の時代に戻るのでなく、見え
てきた課題を全て乗り越え、新しい時
代を創ることです。このような私たち
ですが、これからもご指導よろしくお
願いいたします。